

## 「基礎・基本」定着状況調査 結果と分析

調査の概要	調査時期	平成19年6月12日(火)
	調査対象	県内全公立中学校第2学年生徒
	内 容	教 科 国語、数学、英語 アンケート 生活と学習

本年度の県内全公立中学校2年生を対象とした「基礎・基本」定着状況調査の結果が公表されました。本校の平均通過率は、数学科・国語科・英語科とも県・市の平均通過率を上回る結果でした。

これまで、本校は授業改善のために取り組んできています。各項目を見ますと、指導方法の工夫・改善の成果が見られるものもありますが、今後、指導の工夫・改善を必要とする項目もあります。下記に、各教科の結果分析と同時に今後の具体的な取り組みを記しています。これからもより高い結果が出せるよう努力して参ります。何卒、ご理解とご協力をお願いします。

### 【国 語】

教科全体でも、各領域においても、県・市の平均を上回りました。小グループでの学び合い活動や、「安佐中 詩の群読ボクシング」という取り組みによる成果であると思われる。

しかし、「読むこと」においては、人物の心情を問う設問が県・市を下回りました。前年度も低かったことから、今後は、文章の叙述の

	教科全体	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
県	74.4	63.3	81.0	66.2	80.1
市	72.6	59.7	78.9	64.8	78.8
本校	76.5	67.6	82.8	67.2	83.0

仕方に表れる様々な特徴や細部に注意して読む力をつける必要があります。具体的には音読・暗唱を取り入れたり、多様な読み取り方法を取り入れるなどの工夫をしていこうと考えています。

また、「話すこと・聞くこと」で伝え合う力の基礎を身につけさせ、さらに「書くこと・読むこと」と関連させ、効果的な構成や展開などを自分の表現に役立てるよう促していくことで、表現力、読解力の相互作用による総合的な力の育成を図りたいと思います。

### 【数 学】

授業でのきめ細かい指導や少人数習熟度別指導、放課後の補充など取組の成果があがっています。特に、数と式や図形領域では通過率が高かったです。それに対して、数量関係で具体的な問題状況を理解し考えて解決できる力や表から式を求められることが課題としてあげられます。

今後は、数と式の計算技能をさらに向上させるとともに、数量関係では式やグラフと同様に表を重視した復習・まとめを行います。また、図形領域を含め、数学的な見方や考え方の定着や意味の理解のために、言葉の式や図を使って考え、解法等を自分なりのことばで説明する活動を行いたいと思います。さらに家庭学習の定着を図りつつ、個に応じた指導の充実に努めたいと思います。

	教科全体	数と式	図形	数量関係
県	69.0	73.9	66.3	59.0
市	67.3	72.4	64.7	56.8
本校	71.1	77.3	67.9	58.5

【英 語】

「聞くこと」「話すこと」「読むこと」はいずれも75%以上の通過率で、県平均、市平均ともに上回

る結果でした。「書くこと」も同様に上回っているものの、56.5%と他の3技能に比べ通過率は低

	教科全体	聞くこと	話すこと実技	読むこと実技	読むこと	書くこと
県	73.4	85.1	75.0	73.8	73.1	55.0
市	71.8	84.7	73.5	70.7	71.8	50.9
本校	76.6	88.9	75.3	86.1	78.2	56.5

くなっています。「書く」力が弱い傾向は、全国的に見られ、本校に限ったことではありませんが、この力を伸ばすことができるかできないかで大きな分かれ目になります。そもそも、「書く」ためには、単語の綴りを覚えることは必須です。毎週の宿題で課している練習ノート5ページで、繰り返し単語や基本文を練習する一方、日々の授業の中でも、「書く」作業を意識的に組み込み、「書く」ことに慣れさせたいと思います。

生活と学習に関する意識・実態調査

領域		内 容	回答	県	本校
生活に関する項目	1	毎日朝食をとる	はい	93.9	92.7
	2	よく分かってくれる先生がいる	はい	54.4	57.6
	3	よく分かってくれる友達がいる	はい	90.1	94.7
	4	家の人は、自分のことを分かってくれる	はい	84.1	89.0
	5	将来の夢や目標がある	はい	74.2	81.2
	6	将来の夢や目標はかなうと思う	はい	56.3	58.8
	7	努力すれば自分も大抵のことはできると思う	はい	81.5	86.1
	8	自分にはよいところがあります	はい	65.5	79.6
	9	自分のよさは、まわりから認められていると思う	はい	51.5	65.3
	10	ものごとを最後までやり遂げ嬉しかったことがある	はい	89.0	93.1
学習に関する項目	11	学校へ行くのは楽しいです	はい	79.6	91.0
	12	将来、仕事や生活に役立つと思うから勉強をしている	はい	66.2	67.3
	13	分かると楽しいから勉強をしています	はい	51.1	53.5
	14	苦手な教科でもできるようになりたいから勉強している	はい	60.5	62.0
	15	分からないことは、分かるまで努力します	はい	54.0	58.8
	16	授業中、先生の話で大切と思ったらノートに書きます	はい	70.1	74.7
	17	学校や塾の宿題以外に進んで勉強をします	はい	34.0	41.2

家族や友人が自分を理解してくれている。自分の良いところを認めてくれている。そして、将来への夢や目標を持ち、学習では、分からないことにも分かるまで努力を惜しまないという前向きさも持っています。学校へ行くことを楽しみにしており、3分の2以上の生徒が将来、仕事や生活に役立つと思うから勉強していると答え、目標を持ち自主的に勉強をしています。今後、よく分かってくれる先生の認知と苦手教科を克服しようとする意識形成に向けて、生徒理解を基盤とし、分かる授業の創造に向け授業改善に努力していきたいと思っています。